

ひなたぼっこ通信

2015年
2月号

手打ちそば、頂きましたーケアハウス

毎年、ひなたぼっこでは理事の方やボランティアの方々のご協力で、手打ちそばを打って頂いています。ケアハウスには広いフロアもあるので、是非、皆さんの目の前で腕をふるって頂こうと入居者の方々には早々に声掛けをし、3ヶ所のそば打ち台の周りに集まって頂いてそば打ち実演の見学会となりました。皆さん真剣なまなざしで打ち手の手元を見ては、口々に「昔は、よく打ったんだよ」「もう少しツヤが出るはず・・・」と、昔を思い出されている様子でした。フロアが乾燥していたせいも、粉を丸めるのも薄くのすのも、とても大変そうでしたが、切るのはさすがの手さばきで、みんなで見とれてしまいました。皆さんの明るい表情を見て、昔得意だったことを思い出したり、実際にやってみることもいろんな意味で大切だなと感じました。

さて、折角のそばもまたまた乾燥のせいか、茹であがりはなぜか短くなってしまいました。が、待ちわびていた皆さんにおそばが配られると「わー」と歓声が上がリ、次いで「やけに

短いな・・・」これもご愛敬。

そば粉100%なので、おそばの味もしつかりしていて、香りがとてもよかったです。食べる専門の私でも、自分でも打ってみたいなと思いましたが、不思議です。そばの花畑はともきれいですが、今年は「きれい」と言うところが「おいしそ」と言ってしまうようです。

行程の初めから終わりまで熱心に見学され、おそばも楽しまれて皆さんが元気になり、そのお顔を見て私たちスタッフも元気になれた、とてもよいそば会になりました。そば打ちにご奮闘下さった皆様方、ありがとうございました。

(ケアハウス H)



お正月の遊びと言えばー宅幼老所

元旦から雪景色で新しい年が始まりました。宅幼老所では、午後の時間に、機能訓練の為の体操と、ちよっとしたレクリエーションを企画しみんなで楽しんでいきます。

今回は、ある日のレクリエーションの時間を覗いてみましょう。

お正月の遊びといえば・・・福笑いです。利用者様に目隠しをしていただき、3人のお

顔を作っていたきました。

向かって右の作品は、細長いたれ目がより垂れて、今にも笑い声が聞こえてきそうな、そんな顔に仕上がりました。

真ん中のお顔は、男性の利用者様2人で仕上げた作品です。目と口は離れすぎ、何とも面長なおかめさんが出来上がりました。

そして、一番の大作が左のお顔です。大きな目が顔からはみ出し、

こぼれおちそうです。互いに出来上がった作品を見て、年初めから大笑いしました

これからも利用者様が笑顔に、そして楽しい時間を過ごせるレクリエーションを企画していきたいと思えます。

今年も一年、笑いの絶えない宅幼老所になりますように。



どんど焼きーケアハウス

1月5日、20名近くの入居者の方々が参加下さり、まゆ玉作りを行いました。色付けされた米粉を皆さん、それぞれこだわりの大きさや形に馴染れた手つきでコロコロと丸めながら、

互いの幼い頃の思い出話に花が咲いている様子も見られました。蒸しあがったまゆ玉は次に枝の先にさしていき、まゆ玉でいっぱい飾られた枝を持って、「見て！見て！」と少女のような笑顔を見せて下さる方もいらつしやいました。出来上がったまゆ玉飾りは食堂などへ飾って、どんど焼きの日を待ちました。

1月12日、晴れたものの風の強い日でしたが、ケアハウス敷地内にとんど焼きのやぐらを設置。お正月飾りなどを

持ち寄って頂き、点火するとさつそくまゆ玉を火の中へ差し入れ、皆さん思い思いに焼かれています。焼けたそばから頬張る方や、外に出て来られなかった方へのお土産に、持って帰られる方もおいしかったです。今年一年、健康で明るく過ごせますように。

(ケアハウス N)



グループホームでも

グループホームでは1月14日にとんど焼きに参加しました。それぞれにまゆ玉を飾った枝を持って外に出て、少し寒そうにされながらも一生懸命焼かれています。煙をよけながら焼きあがり待つの大変です。

焼けたまゆ玉は、皆さんで願い事をしながら頂きました。午後には、寒さに負けずに元氣よくからだを動かそうと、ハンドタオルを使ったタオル体操をしたり、みんなで丸くなって椅子に座ってボールを蹴る運動をしたりと、いつもより大きな声を出されて、楽しまれている様子でした。



ひなたぼっこランチのご案内

毎月、第4日曜日は『ランチの日』です
血圧測定、健康相談のほか簡単な小物作りなども行っています

2月22日(日) 10:00~13:00
昼食代は400円 送り迎えも致します
お申込みは宅幼老所 山下までどうぞ

グループホーム・NFF合同シク

「書き初め大会」の開催



「何を書けばいいの?」「書けるかしら」「私にできるかしら」と、最初は様々な不安の声が聞こえた書き初め大会でしたが、いざ書き始めて見ると、そんな心配は何のその。次第に筆は進み、「紙をもう1枚下さい」「ちよつと、その細い筆を貸して」と賑やかな中にも、緊張した空気が流れます。時間を忘れ、夢中になって書き続ける方もいて、お一人ずつ味のある、個性豊かな作品がたくさん出来上がりました。皆さんの作品を見に、グループホームにお出かけ下さい。

発行 社会福祉法人ひなたぼっこ

〒399-0211

富士見町富士見1-1650-1

TEL 0266-61-2335

FAX 0266-61-2336